



一般社団法人
日本看護研究学会

ニュースレター

第5号

2021年7月1日 発行

編集発行

日本看護研究学会

(事務局)

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-24-1-4F

株式会社ガリレオ 学会業務情報化センター内

一般社団法人日本看護研究学会 事務局

TEL: 03-3944-8236 (直通)

FAX: 03-5981-9852

主な記事

理事長より / 国際英文ジャーナル創刊について / 学術集会情報 / お知らせ
連載 / 2021年度事業 / 編集後記

理事長より



一般社団法人 日本看護研究学会
理事長 深井 喜代子

コロナ禍の2020年7月、新たな役員体制でスタートして1年となりました。その間、第26回学術集会(札幌)、国際活動推進委員会によるセミナー、英文誌の発行準備をはじめとする精力的な活動に、多くの会員の賛同と参加をいただきました。2年目も引き続き、会員参加型の、否、会員一人ひとりが「創りあげる」研究活動を展開していただきたいと思います。

さて、私たちが恐怖と混乱に陥れたCOVID-19ですが、この1年余りの間、看護学領域の論文はどれくらい発表されたのでしょうか。医中誌とPubMedでざっくり調べてみたところ、前者で約30件(コロナ、看護で検索)、後者で約90件(COVID-19, nursing, nurseで検索、英文のみ)がヒットしました。和文論文数は検索数では世界の3分の1ですが、学術誌に限ると僅か4件、世界の30分の1に過ぎません(本学会機関誌の1件は医中誌上では未掲載)。トレンドなキーワード検索でのヒット件数としては、和洋ともかなり少ないといえます。その主な理由としては、コロナ禍は突如として出現したので、まだ研究遂行中で公表に至っていないことが考えられます。PubMedによる英語論文の検索結果では、大半が欧米諸国の著者によるもので(1件のみ日本人が筆頭著者)、目を引くようなテーマの論文が、名だたる国際誌に掲載されていました。こ

れは単に英語の問題だけではないかもしれません。というのも、日本の看護学研究の倫理審査プロセスは機関によって様々で、(特に、倫理審査が医師による医学研究の審査体制の中で行われる場合)計画書の申請から承認までに数か月を要するところもあると聞くからです。そうした広義の研究環境が、日本の看護学研究によるコロナ禍関連の論文数に影響している可能性があると思うのです。

ただ、コロナ禍ではもう一つ、別の大きな理由として、全国の教育機関の教員に急遽課せられた遠隔授業対応という膨大な教育業務があります。IT化、遠隔化体制において、教育の場でも立ち遅れていたツケが、研究職である大学教員(特に若手)の研究活動の鈍化を加速した形となったという、誠に残念な現実もあるということをお忘れではありません。

2021年度は、第47回学術集会の開催、英文誌創刊号の発行、そして、「学生会員」の設置など、大きな目標を掲げています。会員が手に手を取り合って、研究マインドを見失うことなく、コロナ禍を乗り切ろうではありませんか。皆様の学会活動への積極的な参加を、心よりお願い申し上げます。

国際英文ジャーナル創刊について

JINR 編集委員長 法橋尚宏

日本看護研究学会会員の研究成果発表の場は学会誌であり、その質の担保は学会の生命線ともいえます。1978年に創刊した『日本看護研究学会雑誌』（創刊時は『四大学看護学研究学会雑誌』）は、日本の看護界で最も歴史のある学会誌であり、看護学研究を牽引してきました。看護学のグローバル化が加速する中、原稿執筆要項の改正などにより英語論文の投稿体制を整備しました。さらに、世界中に看護学研究のエビデンスを広めるために、学会誌をPubMedに掲載する検討を進めてきました。一方で、2015年から『日本看護研究学会雑誌』の全論文をJ-STAGEに登載するという一大事業を行っていましたが、これが2020年度で終了することで、新事業を行う予算の確保が可能になりました。このような背景から、新たな編集委員会の設置と新ジャーナルの創刊を決断しました。

会員の皆様、お待たせいたしました。日本看護研究学会は、国際英文ジャーナルとして*Journal of International Nursing Research (JINR)* を2021年12月に創刊します。論文受付は2021年5月23日より開始し、これと同時に、『日本看護研究学会雑誌』では英語論文の受付を中止しました。

JINRには、下記の特長があります。

- 1) 日本看護研究学会が発行する国際英文ジャーナル
- 2) 看護学に関連する幅広い分野の研究がスコープ
- 3) アクセプトされた論文はオープンアクセスにて迅速公開
- 4) 要件が整い次第、PubMedに掲載予定

投稿規程などの詳細は、JINRのウェブサイト (<https://www.jinr.jsnr.or.jp/>) で公開しています。JINRでは、看護学に関連する論文 (Review Article, Original Research, Practice Guidelines, Technical Report, Brief Report) を募集しています。

JINRは、世界中の看護学研究者に門戸を開いています。筆頭著者が日本看護研究学会会員であれば、論文掲載料 (article processing charge) は無料です。筆頭著者が日本看護研究学会会員でない場合でも、論文掲載料を支払うことによって論文掲載ができます。

また、二次出版 (secondary publication) も可能です。3年以内に『日本看護研究学会雑誌』で公表した論文をJINRに投稿できますので、JINRの編集事務局 (editorial office) にお問い合わせください。

その他、詳細はJINRのウェブサイトを参照してください。今後の展開にご期待ください。JINRを会員の皆様と一緒に育てていきましょう。

学術集会情報

第47回学術集会のご案内



一般社団法人 日本看護研究学会
第47回学術集会会長 塩 飽 仁
(東北大学)

第47回学術集会を2021年8月21日 (土)、22日 (日) の2日間 (オンデマンド配信は会期終了後9月3日まで) 開催いたします。

当初、本学術集会は、ご参加いただく方々を募り仙台会場にお越しただいで対面で実施する企画を、ライブ配信、オンデマンド配信を行う「ハイブリッド」形式で開催する予定でした。

しかしながら、各地で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返し発出されている状況が続いております。今後も当面の間COVID-19の感染収束の目処が立たないことに鑑み、全国から仙台においでいただくこと、会場で出席者が集合してイベントを行うことについて、専門家のご意見をうかがい、また会場となる東北大学の勧告に従い、大変残念ですが、仙台会場

の「ハイブリッド」形式の開催は断念することになりました。

第47回学術集会は、オンラインのライブ配信とオンデマンド配信のみで開催させていただきますので、皆様のご理解を賜りたいと思います。

開催形式が変更にはなりますが、皆様には本学術集会にご参加いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

【プログラム概要】

◎オンデマンド配信企画

- 学術集会長講演
- 教育講演 1題
- 特別講演 2題
- 奨学会研究発表 1題
- 東日本大震災10周年講演 2題
- 共催セミナー 2題
- 研究方法セミナー 1題
- 第48回学術集會会長ごあいさつ

◎リアルタイムライブ配信企画

- 一般演題 口演 11群44題
- 交流集会演題 13題

※一部の交流集会は、事前登録制で人数制限があります。

◎オンラインポスター掲示+電子掲示板による質疑

- 一般演題 示説 117題

【参加登録】

●参加登録期間

事前参加登録期間 2021年2月1日10時から
6月30日12時まで

通常参加登録期間 2021年7月1日10時から
8月22日16時まで

●参加登録/お支払い方法

参加登録と参加費のお支払いは、学術集会のweb siteで行ってください。

教育機関等で一度に複数の参加者登録を行いたい場合は、下記の運営事務局にお問い合わせください。

◆運営事務局

株式会社ソノベ

E-mail : jsnr47@sonobe.co.jp

※上記は5月31日現在の予定です。開催形式の変更等により、内容が変更になる場合があります。

※詳細は、随時学術集会web siteでお知らせいたします。

【一般社団法人 日本看護研究学会 第47回学術集会事務局】

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2番1号

東北大学大学院医学系研究科保健学専攻小児看護学分野内

web site URL: <https://www.jsnr.or.jp/am/47/>

E-mail: 47am@jsnr.or.jp

第48回学術集会のご案内

第48回学術集會を2022年(令和4年)8月27日(土)・28日(日)の2日間、松山市総合コミュニティセンターで開催致します。メインテーマは「実践と研究の往還で紡ぐ看護の知」としました。愛媛の特産物でもある今治タオルや伊予絨、水引細工等、糸や紐が紡がれて素晴らしい作品が生み出されるように、“実

践と研究が往還するなかで看護の知を紡いでいき、紡いだ看護の知を対象者に届ける”そんな思いを込めました。なんとか次年度にはコロナ禍が収束し、医療現場の皆様ともその体験を分かち合い、疲れを癒す時と場にもなればと願っております。

一般社団法人 日本看護研究学会
第48回学術集會会長 中西純子
(愛媛県立医療技術大学)



お知らせ**■大規模災害支援事業委員会より**

本事業におきましては、令和2年度は「令和2年7月豪雨」で被災され申請のあったお二人の方に計33万円を支援させていただきました。また、会員の皆様から多くのご寄附をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

さて、大規模災害支援事業では、支援対象を自然災害としてきましたが、長引くコロナ禍において退学や休学を余儀なくされ、日々の生活にも困窮する学生が多数いる現状が明らかになってきました。そのため、本事業の特例として、コロナ禍による困窮も支援の対象とし、支援総額を300万、1件5万円、最大60名を上限に、支援事業を実施します。詳細はホームページをご覧ください。

■国際活動推進委員会より

国際活動推進委員会は、今年2月10日に本学会会員向け無料のオンラインセミナーを開催いたしました。テーマは「研究計画と英文論文執筆のための国際ルール～公正な科学研究に向けて～」と題して、京都大学教授の中山健夫先生にご講演いただきました。国際ルールは研究の誠実さ、正確さ、効率につながるために必要なのだということをお話いただきました。100人限定のところ満員のご参加があり、当日入れなかった方にはこの場を借りてお詫び申し上げます。2021年3月末まで会員は無料でオンデマンドによる視聴が可能でしたので、ご覧いただいた方もいらっしまったと思います。

今後も国際活動推進委員は、会員の皆様ならびに我が国の看護研究者にとって、グローバルな視野に立った研究活動ができるように、また国際交流を発展させるための取り組みを行っていきます。

■実践研究活動推進ワーキングより

実践研究活動推進ワーキングは、令和2年度、将来構想委員会の下部組織として令和2年度から活動を開始いたしました。日本看護研究学会会員の看護実践の質の向上に資する研究活動を推進するために、何が求められているかの討議を重ねてきました。活動の内容としては、奨学会応募研究計画の支援や、研究チームの支援を考えています。第47回学術集会の交流集会では、WGの活動をお示するとともに、ワークを通じて、共通の関心がある研究者をつないで、それぞれの研究を深めて学ぶ場づくりを提供していきたいと考えています。

実践研究活動推進ワーキングは、実践に役立つ研究成果に結びつくよう、どのような活動に取り組むべきかを、会員の皆様とともに探って参ります。忌憚ないご意見をお待ちしています。

■広報委員会より

保健医療福祉における普及と実装科学研究会（RADISH）から、翻訳書『実装研究のための統合フレームワークCFIR』の発行と、無料公開の情報が届きました。

詳しくはRADISH Webサイトをご覧ください。

<https://www.radish-japan.org/resource/cfirguide/index.html>

■事務局より

年会費のお支払いにオンラインクレジット決済が利用できるようになりました。

学会ウェブサイト (<https://www.jsnr.or.jp/>) から「会員情報管理システム (SOLTI)」にアクセスしてご利用ください。オンラインでの領収書発行も可能です。

「英文論文掲載経験談」

京都大学大学院医学研究科博士後期課程

中本五鈴

私は、現在博士課程3年です。日中の光環境によって尿の概日リズムが変化するかどうかを実験室実験で検証しました。現在、この研究に関する論文を投稿中です。英論文投稿はこれが2回目です。

投稿時の失敗談からお話しします。前回の投稿では、前指導教員がオンライン投稿を行って下さったため、自分で投稿作業をしたことがありませんでした。事前に、投稿フォームを確認していたはずでしたが、実際には多々準備不足があり（カバーレターの未作成など）、全ての入力完了し投稿し終えるまでに、計7時間程かかりました。指導教員の先生と画面を共有し、質問しながらの作業は、右も左も分からない私にとって、とても心強かったです。長丁場の作業にお付き合い頂いたことに感謝申し上げます。最も苦勞した点は、figshare（研究者が図などを共有するサービス）を利用してサブデータをアップすることでした。論文が採択されるまで、データがどのような状態でアップ

されるのかが分からずに、アップするのを躊躇していました。採択前に、データがオープンになってしまうと自己盗用になるのではと不安だったからです。共著者の先生が、プライベートにできることを教えて下さり、無事にデータをアップすることができました。

残念ながら、その投稿は不採択でした。次の投稿先を選定する際、指導教員から「レベルを下げずに、IFのより高いジャーナルに挑戦する人もいます」という話を聞きました。不採択という結果に落ち込み、投稿先のレベルを下げることを考えていたので、悲観的な自分の考え方を見直すきっかけとなりました。研究結果をより広く世界に認知してもらうためには、ジャーナルの目的に見合った内容に近づけ、IFの高い良質のジャーナルに投稿することは得策です。国際的に活躍できる研究者となれるように、同じ志の日本看護研究学会会員の方々と、今後も一歩ずつ成長していきたいと考えています。



2021年度事業

日時	内容	開催方法
2021年 4月29日(木)	第1回理事会	Web開催
5月23日(日)	第2回理事会	Web開催
5月23日(日)	評議員意見交換会	Web開催
5月23日(日)	国際英文ジャーナル <i>Journal of International Nursing Research (JINR)</i> 論文受付開始 https://www.jinr.jsnr.or.jp/	
5月23日(日)	【東海地方会】2021年度東海地方会セミナー 私の看護と出会う—倫理的観点から日常の看護実践を紐解く— 講師：平山恵美子(藍野大学) https://www.jsnr.or.jp/district/tokai/summerseminer.html	Web開催
6月6日(日)	定時社員総会	
7月25日(日)	第3回理事会	
8月	会員総会	書面開催
8月21日(土) ～8月22日(日)	日本看護研究学会 第47回学術集会 当事者ととも創る看護の知 学術集会長：塩飽仁(東北大学) https://www.jsnr.or.jp/am/47/	Web開催
8月28日(土)	【北海道地方会】第29回学術集会 With コロナ・After コロナに育む看護の心 ～看護教育実践の新常識～ 学術集会長：服部ユカリ(旭川医科大学) https://www.jsnr.or.jp/district/hokkaido/23.html	Web開催
11月1日(月) ～11月30日(火)	第7回評議員選挙	
11月28日(日)	第4回理事会	
2022年 1月	第7回役員選挙	
1月29日(土)	【九州・沖縄地方会】第26回学術集会 危機の時代に考えたい根拠ある次代のイノベーション(仮) 学術集会長：三橋睦子(久留米大学)	
2月20日(日)	第5回理事会	
3月5日(土)	【東海地方会】第26回学術集会 看護における知的財産の発掘—看工連携事業の展開—(仮) プランナー：齋藤真(三重県立看護大学)	Web開催
3月20日(日)	【中国・四国地方会】第35回学術集会 地域包括ケアの実践と検証 実行委員長：内海知子(鳥取看護大学)	
3月	【近畿・北陸地方会】第35回学術集会 学術集会長：岡山寧子(同志社女子大学)	

— 編集後記 —

ニュースレター2021年第5号を皆様にお届けいたします。

本号では、英文投稿の経験談や国際英文ジャーナル創刊について掲載しております。

看護学のグローバル化に本学会が寄与できるよう取り組んでおりますので、会員の皆様には積極的に活用いただきたいと存じます。

COVID-19のワクチン接種も進んでおりますが感染拡大は予断を許さない状況です。

会員の皆様におかれましてもご愛ください。

(井上)